

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 301 号	氏名	梶山 史郎
学位審査委員	主 査	西田 教行	
	副 査	河野 茂	
	副 査	平野 明喜	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価			
<p>本研究は、インプラント関連感染症の原因の一つである表皮ブドウ球菌の、バイオフィーム形成および成熟過程を明らかにすることを目的とし、バイオフィームの継時的および定量的評価系の確立と、バイオフィーム関連遺伝子発現量、生菌数との相関性を科学的に検証したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
2 研究手法に関する評価			
<p>ステイレス製ワッシャー表面での表皮ブドウ球菌増殖モデルを用い、バイオフィーム内の菌の増殖を VCC 法、ATP バイオルミネッセンス法を用い、バイオフィーム形成量は BCR 法を用いて定量している。またバイオフィーム関連遺伝子 <i>ica-A</i> 発現を RT-PCR 法を用いて比較検討し、研究手法も妥当である。</p>			
3 解析・考察の評価			
<p>バイオフィーム形成は表皮ブドウ球菌のステンレス素材への付着後 6-7 時間にて急激におこり、一方菌の対数増殖はバイオフィームの形成開始後に生じることを示し、今後の治療法開発およびインプラント開発の際に素材の評価に寄与することが期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はインプラント関連感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			